

平成30年度 地方連携フォーラム

平成31年1月
地方連携推進室

平成31年1月18日（金）、三田共用会議所において「平成30年度地方連携フォーラム」を開催しました。本事業は地方自治体の国際化支援を目的としており、平成20年度から毎年度開催しています。

近年、地方自治体が関心を有する外交分野が多岐にわたっていることを踏まえ、今年度も昨年度に引き続き、地方自治体の関心の高いテーマについて、外交政策説明会及び分科会を開催しました。

地域レベルの国際交流活動に密接に関係する外交政策や国際交流支援に関する「外交政策説明会」（第1部）、4つのテーマに分かれ、自治体職員等が外部有識者、関係省庁職員や当省員と意見交換を行った分科会（第2部）には地方自治体の実務担当者等約110名が参加しました。そして、第3部の意見交換会には関係機関や駐日外交団などを含めた約230名の参加者があり、駐日外交団と自治体職員等がネットワーキングを行いました。

第1部 外交政策説明会

「第7回アフリカ開発会議（TICAD7）に向けて
ービジネスと国際交流の新たなフロンティアー」

講師 紀谷昌彦 外務省国際協力局参事官
（TICAD担当大使）

「ホストタウン推進の取組に関する説明」

講師 十時憲司 内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局企画・推進統括官

参加者からは、「まだあまりなじみのないアフリカの事情がよく分かり面白いテーマであった」、「アフリカとの新たな関わりの可能性を感じた」、「ホストタウンの具体的な効果を理解できた」等の声が寄せられました。



第2部 分科会

- ①「外国プレス・ソーシャルメディアを活用した対外発信～地方から世界へ～」
- ②「外国人観光客で地域を活性化～ガストロノミーツーリズム～」
- ③「グローバル化に向けたSDGsの取組」
- ④「地方の伝統文化・工芸品の魅力を世界へ～多様な発信方法～」



第2部は、「地方の魅力のブランド化と世界への発信に向けた多角的アプローチを考える」という総合テーマのもと、上記4つのテーマで分科会を開催しました。

それぞれの分野において造詣の深い講師陣による講演の後、意見交換では、官民双方の幅広い視点から発言をいただきました。参加者からは、「先進的な具体的事例を聞くことが出来参考になった」、「これまでのイメージとは違う新たな発見があった」、「新たな取り組みに活かしたい」、等の好意的な声が多数聞かれました。

第3部 下川眞樹太外務省官房長主催意見交換会

第3部意見交換会は、駐日外交団等を含め約230名が参加し、自治体職員が日頃から交流のある国の外交団等と歓談をしたり、名刺交換を通じて自治体間、外交団等との新たな関係構築に努めるなど積極的に交流する様子が見られました。

